

第44号 2019年度秋版 (2019年11月18日発行)



編集長：ド ティ フェン (環境情報3)

副編集長：ハイルル アナム (総合政策3)

編集員：ファン ウェンウェン (環境情報2)、

ムハンマド アリエル アルファルク ダルマント (環境情報2)、

クンワル アカス (総合政策2)、チャン ティ ホイ (総合政策2)、

ムウン マノット (総合政策2)、レ ティ チャン (総合政策2)



第16回四日市大学留学生日本語弁論大会のお知らせ

「第16回四日市大学留学生日本語弁論大会」を開催します。日ごろの留学生生活において、感じていること、母国と日本の違い、またこれからの日本社会に対する要望などについて発表します。

たくさんのご来場をお待ちしております。

日時：2020年1月11日(土) 開場 12:30 開演 13:00

場所：四日市大学 311教室

主催：四日市大学

後援：四日市市、四日市北ロータリークラブ

国際ソロプチミスト三重ー北

※ 事前申し込み不要



ベトナムフェア

2019年9月28・29

日に 第3回「ベト

ナムフェア in 四日市」にボランティアとして参加しました。

四日市とハイフォン市は経済交流に関する覚書を締結して

います。この

イベントは、日本人にベトナム文化を広く知ってもらうことを目的に開催されました。イベントでは、ベトナム名物のフォー、バインミー、ベトナムコーヒーなどが味わえる飲食ブースがいくつも出店し、いろいろなベトナムの雑貨を販売されました。また、ベトナムの舞踊や歌



の披露、簡単ベトナム語講座、ベトナムの伝統的な遊びなどが行われました。私たちはベトナム語講座を担当し、手作りのボードやパネルを使って簡単な挨拶の練習や観光地・食べ物を紹介しました。ベトナムを旅行する時に便利な表現だと思います。またベトナムの伝統的な遊びである竹ダンスでは、動く竹の棒の間をジャンプしながら足を挟まれないようにしますが、会場のお客さんと一緒になって踊り楽しかったです。また、民族衣装アオザイの試着コーナーもあり、お客さんがアオザイを試着し、一緒に写真を撮りました。

この2日間、私たちは多くのことを学び、日本人の方々とたくさん交流できました。そして、このイベントをきっかけにベトナムに興味を持ってベトナム好きの人たちが増えてほしいと思います。

総合政策学部2年 レ ティ チャン

四日市徹夜おどり

留学中の私たちは、日本について色々な事を学んでいます。例えば、日本語、日本の文化、日本の歴史などです。そんな中、私たちからもネパールの文化(ネパールの踊り)を日本人のみなさんに、紹介出来た事をとても嬉しく思っています。

今回のイベントを通して、日本の踊りを一緒に

踊ったりしてとても楽しめました。そして、たくさんの日本の方々と出会い、ネパールについて色々語り合いました。これからは日本に外国人の数がもっともって増えてくると思



います。ですので、このようなイベントを通してお互いの国の文化を理解し合うことが大事になってきます。

今回また参加することができて、とても良かったです。また、来年も参加したいです。

環境情報学部 3年 ケシ ブペンドラ

小学生と交流

2019年6月15日、桑名郡の木曾岬小学校において「第22回インターナショナルデー」が開催されました。四日市大学からは私たち3名が母国の紹介をしました。この企画は、外国の文化などを学ぶ教育プログラムでした。今年度は、1年生、2年生、4年生、各クラスの授業を、それぞれ、ベトナム、カンボジア、ネパールの出身者が講師役を務めました。



私自身は4年生のクラスを担当しました。ネパールについて説明しました。最初に、ナマステ（こんにちは）と手を合わせ挨拶しました。国旗の特徴や世界一の高さを誇るエベレストがネパールにあること、毎日食べるカレーの辛さなどを紹介しました。また「ツンギ」という輪ゴムをまとめて作ったボールを、足でリフティングする遊びを子どもたちと一緒に行いました。子どもたちはやりたいと言って、初めてするネパールの遊びに夢中になっていました。それぞれの教室で子どもたちが発言し、私たちも一生懸命日本語で会話して、そんな子どもたちの生き生きとした姿が印象的な一日となりました。とても楽しかったです。この経験を活かし、今後も国際交流活動を通じて日本と母国の架け橋になりたいと思っています。

総合政策学部 2年 クンワル アカス

未来へ

就活に向けて

私は、母国から名古屋にある日本語学校に入学し、2015年4月に来日しました。日本語学校は2年間通い、卒業した後、四日市大学に進学しました。今年は四日市大学の3年生になり、日本は5年目になっています。私の国は、東南アジアに位置するインドネシア共和国です。ここでは私が理解している就職活動についてお話しします。その前になぜ私たちは日本に留学しにきたのか、それぞれの目的または理由があると考えられます。私と同じ、日本に就職したいという目的



を考えている留学生はたくさんいると思います。しかし、途中で諦めてしまい、母国に帰る留学生もいるでしょう。皆さん、そうならないように頑張りましょう。日本で就職するために大切なのは日本語能力または英語です。知識があってもコミュニケーションができないと一般的には日本の企業に採用してもらえないと思われます。それではみなさんの日本語能力はもう完璧だとして、就職活動について話しましょう。就職活動にはどんな流れがあるのか、今から述べます。5つの流れがあります。

1つ目は説明会の参加、

2つ目はエントリーシートの提出、

3つ目は面接、

4つ目は内々定

5つ目は内定、

上記の通りが、私が今まで学校での就職ガイダンスで教わったことです。これからも1年生や2年生の皆さんはぜひ、今のうち日本語の勉強がんばって3年生になったら就職活動も積極的に参加しましょう。私と皆さんの目的が達成できるように祈っています。

総合政策学部3年 ハイルル アナム

未来への一歩。

留学生 OPEN CAMPUS

8月6日(火)に留学生オープンキャンパスが行われました。夏の暑さにも関わらず、ベトナム、中国、ネパールなどの国からの多くの方が参加してくださいました。三重県の日本語学校に限らず、

愛知県や他県の日本語学校からも多くの方に参加していただきました。

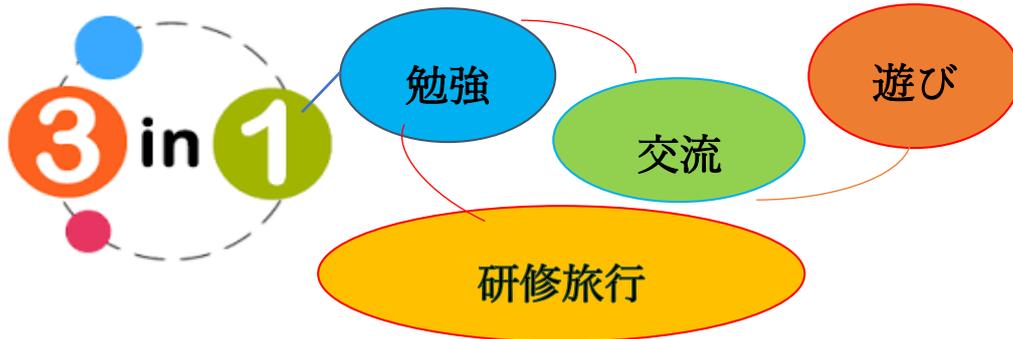
大学紹介のあと行われた在校生3名のスピーチでは、環境情報学部4年生のチョウイクイさん、総合政策学部3年生のブペンドラさん、総合政策学部1年生のハンさんが壇上に立ち、大学生活、大学の各活動、卒業研究論文などを、後輩の皆さんの前で流ちょうな日本語で話をしました。インタビューを聴いて、後輩の皆さんが、大学生活はどんなものか想像できたと思います。



また、スタジオ、コンピューター室などを見学したり、私たちスタッフの相談コーナーでは、たくさんの質問を受けました。暑い中でしたが、オープンキャンパスにご参加いただきありがとうございました。本当にお疲れ様でした。

暑い中でしたが、オープンキャンパスにご参加いただきありがとうございました。本当にお疲れ様でした。

総合政策学部2年 チャン ティ ホイ



毎年に1回、夏休みの中で一番楽しみにしていることがあります。それは、留学生・日本人学生交流研修旅行です。今年は一泊二日で山梨県へ行くことになりました。

今回の行程は…

1日目:大学から出発して、ビュッフェレストラン ふじさんで昼食を食べました。そのあと、ホテルに着き、夕食を食べて、交流会を行いました。



● 2日目:ホテルで朝ご飯を食べて、チェックアウトして、忍野八海へ向けて出発しました。その後河口湖クラフトパークにて、オリジナルグラス作りを体験しました。最後に富士山五合目に行つて、ハイランドリゾートホテルで、みんなで昼食を食べました。



を食べました。

日本の世界遺産に行くことができ、みんな楽しんでいました。いい景色を観ることができたし、バスガイドさんからたくさん情報を案内していただいたし、交流会では日本の事はもちろん、ネパールやカンボジアの事などの異文化理解もできました。それに自分の手でガラスに飾り付けをして、プレゼントとして持って帰れました。とても楽しかったです。しかし、残念なことがありました。出発日の前日、大雨





が降って、浸水の所もありました。出発の時間が2時間ぐらい遅くなりましたし、富士山は曇っていて見れませんでした。しかし、すべて予定通り行くことができました。2日目、バスの中から富士山の全体が見えました。良かったです。2日間、無事に終わりました。私たちにとって、とても素晴らしい体験でした。

勉強-交流-遊びが、同時に体験できました。来年の夏まで楽しみに待っています。みなさんもチャンスがあれば、ぜひ参加してください。参加しないと後悔しますよ。

環境情報学部3年 ド ティ フェン

奨学金

下記の留学生に奨学金支給が決定しました。

皆さん、おめでとうございます。

2019年度文部科学省外国人留学生学習奨励費
(日本学生支援機構)

■就職支援特別枠(5名)

ラナ ガンビル ラズ (経済経営学科4年)

アパットゥ パウトラ キットニ ガヤン

(環境情報学科4年)

ケ シ ブペンドラ (環境情報学科3年)

タマン サンジープ (総合政策学科3年)

バスネット ディペス (総合政策学科3年)

■一般枠(1名)

グエン ヴァン ミー (総合政策学科2年)

令和元年度三重県私費外国人留学生奨学金
(三重県)

グエン ティ フェン チャム (総合政策学科3年)

令和元年(2019年)度日本語教育普及奨学金
(日本国際教育支援協会)

シュレスタ ラメシュ (総合政策学科3年)

2019学年度ロータリー米山記念奨学金
(ロータリー米山記念奨学会)

チュオン ティ ハ ヴィ (経済経営学科4年)
ピヤガマ アラッチャ ナット カン ダナゾヤ
(環境情報学科4年)



日本再発見の旅 Discover Japan

7月16日に授与式が行われた「宗村南男記念 - 留学生による日本再発見の旅 - Discover Japan」の受賞者たちが、受賞した企画で研修旅行を実施しました。受賞したのは、カンボジアとインドネシア出身の2人が企画した旅で、8月21日から23日にかけての2泊3日、神戸と大阪を訪ねました。下記は受賞者の一人、総合政策学部2年生ムウン・マノットさんのレポートです。

神戸・大阪の旅

私は、「留学生による日本再発見の旅—Discover Japan」で受賞した旅で、神戸・大阪に行きました。

一日目は、神戸ハーバーランドと南京中華街に行きました。電車もレトロな雰囲気ので、とてもおしゃれでした。その電車に乗って最初に訪れたのが南京中華街です。以前旅行で横浜中華街に訪れたことがあるのですが、横浜中華街と比べると小規模でした。しかし、南京中華街には神戸牛のお店がたくさんありました。私も食べたかったのですが、とても高価で食べることができませんでした。それだけ神戸牛は良質な肉なのだと実感しました。次に訪れたのが、神戸ハーバーランドです。海のすぐそばの観覧車に乗りました。そこから見える神戸の港と工場の夜景がとてもきれいでした。四日市にある有名な四日市コンビナートと比べると数は少なかったですが、同じくらいライトアップが美しかったです。

二日目は、『阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター』へ行きました。最初に大画面で地震発生時の映像を約10分見ました。あまりにも衝撃的な映像でショックを受けてしまいました。その映像を見た後に、実際の現場が再現された展示スポットがあり、どういう状況であったかを知ることができました。また、水が膝まで上がってきたときにどのくらい歩きにくいかを体験できるスポットもあり、男の私でも全く足が動きませんでした。そして、地震を実際に体験された方の話も聞きました。日々の備蓄や地震対策、そして何よりも重要なのが近所との連携、助け合いだと分かりました。あれだけの被害があったのに、なぜ日本はこんなにも早く復興できるのか不思議でしたが、日本人には助け合いの精神があるからなのだと思います。





次に訪れたのは、『異人館』と『布引の滝』、『六甲山のロープウェイ』です。異人館では、神戸ムスリムモスクに行きました。礼拝をする部屋は男性・女性で分かれています。ムスリムの方に20分ほど話を聞き、一日に5回メッカに向かって礼拝をおこなうこと、ラマダーンがあることなどが分かりました。そして、布引の滝は異人館から歩いて行きました。急な坂を30分ほど歩くと大きな滝が見えてきます。そこには外国人観光客も多くいました。勢いも激しく夏でも涼しく感じました。六甲山ロープウェイは、約12分かけて頂上へ行き、そこから見える神戸の町並みは本当に美しかったです。一日目に行った神戸ハーバーランドもはっきり見えました。

三日目は、『大阪城』に行きました。大阪城は、江戸時代に修築されたお城です。お城の周りは敵が入りにくいようにお堀というものがあります。カンボジアにはない技術で、昔の日本人の工夫に感動しました。大阪城にもものぼって、大阪の町並みを見ることができました。

最後に『あべのハルカス』へ行きました。ビルの高さは300メートルで日本一高いビルです。そこの展望台へ行き、夜景を見ました。エレベーターのドアが開いた瞬間あまりの美しさに言葉が出ませんでした。夜景の美しさにも驚きましたが、日本の技術に最も驚かされました。この高さのビルや、私たちが今日の前にしているきれいな町並みはどのように作られたのか不思議でたまりませんでした。

今回の神戸・大阪の研修旅行で、日本の技術・歴史・文化・日本人の人柄を知ることができました。タクシーを多く利用したのですが、信号が長いからとわざわざメーターを止めてくれた運転手さんや、外国人にも優しく道案内をしてくれた通りすがりの人もいて、温かい心にもふれることができました。大学の講義を受けるだけでなく、実際に見て、感じるということがいかに大切なことか分かる三日間でした。このような貴重な経験をさせて頂き、心より感謝致します。



受賞者 総合政策学科2年 ムウン・マノット
(カンボジア出身)

総合政策学科2年 アリフ・ウィチャクソ
(インドネシア出身)